

平成29年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT29218 顕微鏡で見るがん細胞：がんの謎を探る



開催日：2017.8.18
実施機関：大阪大学微生物病研究所
(実施場所) (大阪大学吹田キャンパス)
実施代表者：高倉伸幸
(所属・職名) (情報伝達分野・教授)
受講生：高校生17名
関連URL：<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/>

【実施内容】

微生物病研究所4研究室（発癌制御研究分野・細胞制御分野・遺伝子生物学分野・情報伝達分野）が共同して開催し、顕微鏡写真の展示とワークショップを行った。受講者数は高校生17名であった。写真展示では研究の過程で得られた細胞や組織の研究写真を展示し、4研究室の若手研究者が説明にあたった。午後のワークショップでは、現在実際に研究室で行われている研究をもとにクイズを出題し、高校生自ら問題を考えるよう促した。

【プログラムで工夫をした点】

受講者に、がん研究が多角的な視点・アプローチから行われていることを知ってもらうため、癌研究を行う複数の研究室が共催でおこなった。4研究室で一貫したメッセージを伝えることにより、がん研究を通じて生物学の本質を研究し得ることへの理解を深められるようにした。

当日のスケジュール

10:00～10:30	受付(集合場所:阪大吹田キャンパス微生物病研究所1F)
10:30～11:30	写真展見学、細胞の顕微鏡観察
11:30～12:00	所内見学(研究室・微研ミュージアム)
12:00～13:00	昼食・休憩(大学内、各自)
13:00～13:10	科研費の概要説明
13:10～14:40	ワークショップ1「細胞は何故癌化するのか」 発癌制御研究分野 梶原健太郎助教・細胞制御分野 三木裕明教授
14:40～15:00	休憩(クッキータイム)
15:00～16:30	ワークショップ2「がんと私たちののからだ」 細胞生物学分野 渡邊すぎ子准教授・情報伝達分野 高倉伸幸教授
16:30～16:45	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)
16:45	終了、解散

● 午前中の写真展の様子



● 午後のワークショップの様子



● 「未来博士号」を授与



【事務局との協力体制】

微生物病研究所会計係が窓口となり本部事務局とのやり取りを行った。

【広報活動】

学術振興会のウェブサイトを見た申込者で定員を超えたため、独自に広報活動は行わなかった。

【安全配慮】

会場には常にスタッフが常駐し、安全に配慮した。ポスター用パネルなど転倒などの危険性があるものは専門の業者に設置を依頼した。

【今後の発展性、課題】

ワークショップではクイズ形式で行ったが、受講生が積極的に発言しやすい場の作り方には課題が残った。

【実施分担者】

大阪大学微生物病研究所発癌制御研究分野教授 岡田雅人

大阪大学微生物病研究所細胞制御分野教授 三木裕明

大阪大学微生物病研究所遺伝子生物学分野教授 原英二

【実施協力者】 6 名

【事務担当者】 大阪大学微生物病研究所 広報室 中込咲綾